

み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



12月定例会
1月臨時会

- ◆山形市発展計画を推進する
補正予算を可決 P2
- ◆常任委員会
こんなことが話し合われました P6
- ◆一般質問
市政のここが聞きたい P10

▲見つけた！カルタ目指して猛ダッシュ！！
(昨年の少年自然の家少年団 雪上運動会)



補正予算を可決

教育環境の改善に向けた補正予算を審査

委員 財政調整基金の残高が減少しているのはなぜか。
財政課長 ここ数年の傾向と

国からの補助金や財政調整基金からの繰り入れなどにより、市の歳入（収入）を増額します。

歳入（一般会計）
34億4178万円

補正予算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

12月の主な補正予算 一般会計 34億4,178万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 小学校校舎改築事業（千歳小）
..... 7億7,000万円
- 経済対策臨時福祉給付金給付事業
..... 6億7,214万円
- 小学校トイレ改修事業（11校）
..... 4億1,703万円
- 中学校空調設備改修事業（3校）
..... 3億5,180万円
- 市街地再開発事業費補助金（七日町第5ブロック南地区）
..... 1億5,228万円
- 障がい福祉サービス給付費
..... 1億2,872万円

やして無駄な支出を抑えるよう取り組んでいるが、なお一層努力していく。

委員 財政調整基金が減少する中で、今後さまざまな事業に安心して取り組めるのか。
財政課長 財政調整基金が少なくなると予算の制約が出てくるため、市民ニーズに十分に配慮されなくなると危惧している。これまでも収入を増やして無駄な支出を抑えるよう取り組んでいるが、なお一層努力していく。

して、大規模プロジェクトや少子高齢化による社会保障などのさまざまな事業に対する一般財源からの支出が多くなっていることが考えられる。

委員 工期が重なると思うが、人手不足にはならないのか。
教委施設整備室長 発注時期を変えたり工期に余裕を持たせることなどにより、人員を確保できると考えている。

トイレ改修計画に基づき11校のトイレを改修します。

小学校トイレ改修事業
4億1703万円

委員 学校改築に当たってのコンセプトはあるのか。
教委施設整備室長 千歳小学校が目指す学校像を実現するために、木造で温かみのある校舎を目指してきた。実施設計の途中であるが、普通教室は2階建て木造、管理棟は1階が鉄筋コンクリート造、2階が木造で特別教室の配置を予定している。

小学校校舎改築事業
7億7000万円

耐力度調査の結果を受け、千歳小の校舎を改築します。



▲市役所1階に臨時受付窓口を設置

委員 事業費を平成29年度まで繰り越す理由は何か。
生活福祉課長 スケジュールとして3月1日から申請受付を開始し、第1回目の支給を3月下旬に予定している。受付期間は、国から3カ月から6カ月の間と示されているが、本市は最大限の期間である6カ月間と考えている。

消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、一定所得に満たない方に対し、臨時福祉給付金を給付します。

経済対策臨時福祉給付金給付事業
6億7214万円

※ 財政調整基金…地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金。

山形市発展計画を推進する

総額38億1,619万円

産地パワーアップ事業費補助金 5904万円

水田、畑作、園芸作物などの産地の高収益化に向けた取り組みを支援します。

委員 補助要件はどのようになっているのか。

農政課長 面積要件として、土地利用型作物では米が50ヘクタール以上、大豆が20ヘクタール以上、園芸作物では果樹が10ヘクタール以上、花きが3ヘクタール以上となっている。また、成果目標として、生産コストの10%以上の削減または販売額10%以上の増加が要件となっている。

企業立地促進事業費助成金交付事業 9463万円

平成28年11月に蔵王産業団地で操業を開始した企業に対し、用地取得助成金を交付します。

委員 蔵王産業団地における市の助成制度は3種類あるが、今回は用地取得助成金のみとなっている。雇用促進助成金と固定償却資産取得助成金は

どうなるのか。

雇用創出課長 雇用促進助成金は、雇用人数の確定後に申請を受けて、**28年度の予算で対応**したいと考えている。また、固定資産税の課税が29年度からとなるため、固定償却資産取得助成金は**29年度から予算化**することになる。

蔵王樹氷まつり拡充事業 400万円

県の補助金を活用し、創作花火の打ち上げや温泉街のイルミネーション、じゅっきースノーランドの設置など、樹氷まつりのさらなる充実を図ります。

委員 樹氷まつりの入込数はどのくらいなのか。また、今後の目標はどうか。

観光物産課長 平成23年度から26年度までは**5万人から6万人程度**で推移しており、27年度は**5万2000人**であった。目標としては、これまで延べ1万人程度であった蔵王温泉の年間外国人宿泊者数を**2万5000人**にしたいと考えている。

蔵王温泉スキー場インバウンド推進事業 1700万円

岩手県八幡平市と連携し、海外向けのスノーリゾートとしてのブランドの構築と知名度の向上を図ることで、東日本大震災の影響により落ち込んだ外国人観光客を誘客し、観光を通じた地域づくりや地域経済活性化を推進します。

委員 どのようなコンセプトで事業を進めていくのか。

観光物産課長 海外向けの**東北全体のスノーリゾート**として、仙台国際空港を起点に蔵王温泉スキー場と安比高原ス

スキー場の周遊や直行ができないか研究していく。なお、台湾、オーストラリア、東南アジア圏などからの誘客を考えている。

委員 具体的にどのようなことをするのか。また、この事業は何年間で継続して行われるのか。

観光物産課長 それぞれのエリアの現状や、連携していくにはどのようなことが効果的なのか調査することから始めたいと考えている。また、財源となる東北観光復興対策交付金は**3年間の継続事業**となるため、連携して事業を進めていきたい。



▲世界に誇る樹氷と蔵王温泉スキー場

高齢者保健福祉計画策定事業
222万円

第7期高齢者保健福祉計画の策定に向けて調査を行います。

委員 計画策定に向けた調査はどのような内容なのか。
長寿支援課長 調査の一つ目は**介護予防・日常生活圏域二一ズ調査**で、対象者は要介護以外の高齢者6000人である。二つ目は今回から新たに加わった**在宅介護実態調査**で、対象者は要支援以上の認定を受けている高齢者とその家族1400人となる。その



▲いきいきと年齢を重ねられるまちづくりへ向け調査

委員 介護従事者の負担を軽減する介護ロボットはどの事業所で

生活支援ハウスなどへのスプリングラーの設置や、介護従事者の負担軽減のために介護ロボットを導入する事業者へ支援します。

介護サービス基盤整備事業費補助金
666万円

委員 調査は国から決められた項目だけなのか。市で追加することはできないのか。
長寿支援課長 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査では、国の33項目に加えて**市独自の37項目程度と基本チェックリスト25項目を調査**する。また、在宅介護実態調査では、国の20項目に**市独自で10項目程度を追加**する。

他に、**介護保険事業者等実態調査**により地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護事業所運営法人の計204事業者に対しても調査を行うことになる。

も必要だと思うが、どのような基準で4事業所を選定したのか。

長寿支援課長 導入の意向調査時点では、**6法人17事業所が導入を希望**していたが、全国的に希望事業所が多く、交付金の上限額が大幅に引き下げられたことから、**最終的に4法人4事業所が導入を希望**している。

山形県施行防災行政通信ネットワーク再整備事業費負担金
3947万円

山形県防災行政無線の老朽化などに伴い、県が実施する機器改修工事（市庁舎および消防本部）に対し、協定に基づき負担金を支出します。

委員 事業の具体的な内容はどのようなものか。

防災対策課長 設置から14年経過している機器を更新するほか、現在の衛星回線に加えて大雨に対応するための光回線の設置による**回線の二重化**、事務室への**大型モニターの設置**など、防災行政通信ネットワークの全体的な更新となる。

3月定例会の日程 (予定)

2月23日(木) ~ 3月21日(火)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023 (642) 8404

平成29年度から指定管理者制度を導入するべにっこひろばとべにっこひろば子育て支援センターの指定管理に対する限度額を設定します。

べにっこひろば指定管理料の債務負担行為
限度額4億270万円に消費税および地方消費税を加えた額

委員 指定管理料の内訳はどのようなものか。また、現在の一部委託による運営費用と比べどのくらい違うのか。
こども保育課長 人件費や事務費・光熱水費などのほか、清掃業務や屋外施設維持管理

などの委託料を含んでおり、これまで**市が行っていた経費の全て**を含んでいる。また、委託している28年度と比べて**450万円ほど上限額が低く**なっているが、これは市職員の配置をなくすことによるものである。



▲平成29年度から指定管理となるべにっこひろば

※ 債務負担行為…1つの事業が単年度で終了せずに、後年度においても負担しなければならない場合に、議会の議決を経てその期間と額を確定するもの。

委員 配水管更新の耐震化の進行状況はどうか。
水道建設課長 平成29年度の中間目標30・3%に対して、27年度末は約28%であり、**おむね計画どおり**進んでいる。

地域経済に配慮し、年度末から年度初めにかけて継続的な工事を行うための限度額を設定します。

水道施設耐震化(配水管更新)事業の債務負担行為
限度額2億5000万円

委員 大規模な道路維持補修工事は行わないのか。
道路維持課長 今回の補止は、地区からの要望による水路、側溝の整備や、雪解け後の傷んだ路面への対応で、**工事発注の平準化による業者の経営安定**への配慮などから、**債務負担行為を設定している。**

地域経済に配慮し、年度末から年度初めにかけて継続的な工事を行うための限度額を設定します。

道路維持補修事業の債務負担行為
限度額1億5000万円



▲再開発される七日町第5ブロック

都市政策課長 七日町御殿塚などの歴史的景観を生かしたまちづくりが今後の一つの活路となるため、**中心商店街からは大きく期待されている。**

委員 周辺の商店街などの意見はどうか。

七日町第5ブロック南地区の市街地再開発に補助するための予算の増額です。

市街地再開発事業費補助金
1億5228万円

委員 工事の地域が分散しているのはなぜか。
水道建設課長 同じ地域だと車の出入りなどで**住民に迷惑**が掛かってしまうことと、**耐用年数に応じた工事**であるため地域は分散することになる。

みみより情報

上山市 上山市民俗行事 **加勢鳥**

とき 2月11日(土・祝) 午前10時～午後3時30分
ところ 上山城～市内(中心市街地や温泉街などを練り歩きます)
内容 江戸時代から伝わるケンダイというミノをかぶった若者に祝いの水をかけ、五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る上山の冬の風物詩です。
問い合わせ先 上山市観光物産協会 ☎672-0839

山辺町 まんだらの里 雪の芸術祭

とき 2月4日(土)
ところ 作谷沢ふれあい自然館とその周辺
内容 雪のオブジェや炎に囲まれる幻想的な祭りです。
問い合わせ先 作谷沢公民館 ☎666-2121

中山町 柏倉九左エ門家ひな祭り

とき 3月3日(金)～3月26日(日)※水曜定休
午前10時～午後4時
ところ 中山町大字岡8 柏倉九左エ門家
内容 江戸時代大庄屋を勤めた柏倉九左エ門家のお雛まつり。暮らしとともに伝承されてきたお雛飾りが展示されています。雅やかな享保雛、古今雛、珍しい人形として「五人官女」があります。
【料金】高校生以上500円、小・中学生300円
問い合わせ先 柏倉九左エ門家 ☎662-3521

議会報研修会に参加

平成28年11月9日に、県市議会議長会主催の議会報研修会が村山市で開催され、議会報委員5人が参加しました。

株式会社山形新聞社編集局整理部長の斎藤敏広氏を講師に迎え、「読んでもらえる議会報づくり」の演題で行われました。新聞の製作方法を参考に、現場の大きさや様子がよく分かる写真の撮り方や、理解しやすい記事・見出しの書き方などの誌面作りのポイントを学びました。また、各市の議会報を題材に、作成のポイントなどのアドバイスをいただきました。今回の研修成果を生かし、より親しんでもらえる、魅力ある「やまがた市議会報みちしるべ」をつくるため努力してまいります。



▲読みやすい誌面作りを学びました

総務 厚生

産業文教 環境建設

4つの委員会で

こんなことが話し合われました!!



病院

済生館の病床数を削減

委員 病棟はどのように再編するのか。また、市民への説明はどのように行うのか。

済生館管理課長 8階西病棟を閉鎖し、糖尿病などの内科と眼科、皮膚科を他の病棟へ移動することになる。病棟閉鎖で空いたスペースには病児・病後児保育施設や脳卒中センターリハビリテーション分室の整備を検討している。市民への周知は、ホームページや広報やまがたで行っていく。

委員 今回の病床削減は県からの要請によるものなのか。
済生館管理課長 県からは地域医療構想への協力の依頼はあるが、**具体的な話はない。**

委員 人口30万人都市を目指す中で、将来、病床数を増やすことはできるのか。

済生館管理課長 閉鎖した病棟へ別の施設を設置した後に病床数を増やすことは難しいが、今後、済生館を改築する

ときは将来の医療需要を踏まえて検討する必要があると考えている。

委員 県の構想では、急性期の病床が過剰で、回復期・慢性期の病床が不足しているとのことだが、病床を削減するのではなく回復期・慢性期に振り替えるという議論はなかったのか。

済生館管理課長 済生館は救急搬送を村山構想区域で一番多く受け入れており、病院の機能としては**将来的にも急性期を担っていく必要がある**と考えている。県は、急性期の病床に回復期・慢性期の患者が入院している場合を指摘しており、そのような病院が病床機能を転換することで、地域全体としてバランスが取れると考えている。



▲病児・病後児保育施設などの整備を検討（8階西病棟）



文化・スポーツ

球技場の指定管理を審査

委員 事業計画などに、改善点や管理手法を向上させる要素はどの程度あるのか。

スポーツ保健課長 球技場の利用は好調であるが、**日中の利用率などを含めた課題がある。**今後、さらなる工夫による改善を指導していく。



▲指定管理でさらなる利用改善が期待される市球技場



子ども

べにつこひろばの指定管理を審査

委員 審査項目のうち、安全管理に関する取り組みの点数が低いと感じるが、安全管理の考え方はどうか。

こども保育課長 仕様書の基準を満たしており、安全管理ができるものと判断しているが、なお一層安全管理を徹底



商工業

山形中央インター産業団地造成の委託金額を変更

委員 委託金額を減額したの

委員 説明会に参加したものの応募しなかった事業者の理由を把握しているのか。
こども保育課長 新たな施設を整備していくことを踏まえ、今回興味を持っていただいた事業者への調査を検討したい。

※1 急性期…状態の早期安定化に向けた医療を必要とする時期。
※2 回復期…急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを必要とする時期。
※3 慢性期…長期にわたり療養が必要となる時期。



▲変わる農業委員会制度

はなげか。
雇用創出課長 造成工事の執行差金のほか、金融機関からの借り入れと償還利率の見込みとの金利差が大きく影響している。

行政委員会

農地利用最適化推進委員を新設

委員 農地利用最適化推進委員の定数は、今後の状況を踏まえて変更するのか。
農委事務局次長 地区の状況などを考慮し、見直しも含め

て検討することになる。

委員 農業委員会制度の改正により、どのような課題があると考えているのか。
農委事務局長 農業委員が地域の代表でなくなることから、

農地利用最適化推進委員の報酬額を定める

委員 農地利用最適化推進委

地域の意見がしっかりと反映されるのかという課題がある。公募推薦となるが、選考する際に地域性を考慮していきたい。なお、委員の選考に当たっては公平性の確保に努めていく。

員の報酬を月額3万円とした積算根拠は何か。
職員課長 費用弁償として1日当たり1万4000円、活動日数を月3日程度と考え、3万円としている。

委員 活動日数が想定より大幅に上回る場合には見直しを考えるのか。

職員課長 国では農地利用最適化交付金により、実績による報酬の上乗せも指導しているが、実際のどのくらい交付されるのか分からない状況などもあるため、引き続き検討していく課題であると認識している。

まちづくり

原発事故による避難者の市営住宅への入居が可能に

委員 市営住宅に居住している避難者はいるのか。
管理住宅課長 現在、県内の公営住宅に住んでいる世帯は8世帯で、うち2世帯が自主避難者である。当初、本市でも8戸準備していたが申し込みはなかった。

はながたベニちゃんの
教えて!! 議会あれこれ

Q 議会の会議録を見たいときはどうするといベニ？

A 山形市議会の会議録は議会事務局のほか、県立図書館や市立図書館でも見ることができるよ。また、議会ホームページでも会議録検索システムから用語や会議期間を指定して会議の内容を見ることができるんだ。ぜひ活用してみてね。

税金

本市に本社機能を移転した事業者の固定資産税を軽減

委員 軽減による減収分はどのような形で補填されるのか。
資産税課長 各自自治体の財政力指数に応じた普通交付税に

委員 連帯保証人などの要件緩和はないのか。
管理住宅課長 今回の改正は、住所要件や福島に持ち家がある場合なども対象とする緩和が主であり、連帯保証人の住所要件の限定はしていない。

よる措置がある。本市の場合には、**移転型事業の減収分の2分の1が補填される**が、拡充型事業は補填されない。

委員 県の認定を受けた事業者が対象となるようだが、要件は何か。
資産税課長 県で策定している**地域再生計画・山形県企業立地活性化計画に基づく計画区域への立地**であることや、会社の総合的な管理部門や研究開発部門、情報処理部門などの**特定業務施設の移転**であること、また、**増加させる従業員数を10人以上**とすることなどが要件となっている。本市は一部の山間部などを除いたほぼ全域が指定されている。

意見書（要旨）

12月定例会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような中、地方議会議員は、これまで以上に住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、議員は、議会活動のほか様々な議員活動を行っており、近年は、都市部を中心に専門化が進んでいる。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

人事案件

選挙管理委員会委員と同補充員を決定

平成28年12月22日の任期満了に伴い、地方自治法の規定により選挙を行った結果、次の方が当選されました。

【選挙管理委員会委員】

細谷 伸夫氏（旅籠町）
岩城 慎二氏（大手町）
高橋 春美氏（東原町）
栗原 啓市氏（七日町）

【選挙管理委員会補充員】
佐藤 澄子氏（伊達城）
安部 信雄氏（江南）
勝見 祐子氏（銅町）
佐藤 昌子氏（江南）

1月臨時会

1月臨時会を1月6日に開催しました。平成28年度一般会計補正予算の議案1件が上程され、総務・厚生分科会に分割付託の上、審査を行いました。審査終了後に本会議を再開し、予算委員長の報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく可決しました。

委員会 視察報告

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。今回は議会運営委員会の視察内容をお知らせします。

| 委員会名 | 日程 | 視察地 | 視察項目 |
|-----------------|----------------------|--------------------------------|---------------------|
| 議会運営委員会 (1班) | 10月12日(水) ～14日(金) | 奈良県奈良市 滋賀県栗東市 大阪府大東市 | 議会運営および 議会改革について |
| 議会運営委員会 (2班) | 10月26日(水) ～28日(金) | 神奈川県厚木市 神奈川県鎌倉市 神奈川県茅ヶ崎市 | 議会運営および 議会改革について |

議会をより一層身近なものへ

議会運営委員会（1班）



大東市では、より開かれた議会を目指し、さまざまな議会活性化の取り組みを行っています。平成26年4月から従来の定例会制ではなく、より柔軟な対応ができるよう閉会中の期間がなく、いつでも会議を開くことができる通年議会を開始しています。また、市民から議会がより身近なものに感じてもらえるように、政策意見交換会や政策タウンミーティング、夜間議会・日曜議会、議場コンサート・講演、出前委員会などさまざまな取り組みを行っています。本市においても今後検討すべき事項として、大変参考になるものでした。

事業評価や政策提言の積極活用

議会運営委員会（2班）



茅ヶ崎市では、決算審査のさらなる充実と審査結果を翌年度予算に反映させるため、平成21年度より事業評価を導入しています。4つの分科会で、評価対象事業をそれぞれ5事業程度選定し、決算審査の中で、行政側の自己評価を踏まえた事業の方向性を議論し、その評価結果（「拡充」、「現状のまま継続」、「縮小」、「休廃止」）を市長に通知しています。また、26年度より各常任委員会ごとにテーマを設定し、調査研究、委員間討議などを経て最終的に政策提言を行うなど、本市においても今後検討すべき事項として、大変参考になるものでした。

市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。12月定例会では、11月29日と30日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



山形市の将来を見据えた都市整備を

佐藤 秀明 議員

Q 過大な産業団地の開発や市街化区域と市街化調整区域の線引きの見直しは、急ぐべきではないと思うがどうか。

A 市街化調整区域の開発許可の規制緩和に向けて検討している。産業団地については、地区計画制度などの手法も含めて検討したい。

Q 中学校の区域ごとに年齢構成をバランスよく保つことが、持続可能な地域をつくると考えるがどうか。

A 各地区がそれぞれの特性を生かし、本市全体が発展することを目指しており、今後の施策に反映していく。

Q 外国人技能実習適正化法と改正出入国管理・難民認定法が成立し、今後、介護職場で多くの外国人を受け入れることになると思うがどうか。

A 本市に外国人の方が移住することは、基本的に歓迎するものの、無理が生じない中で受け入れが必要だと考えている。

Q 策定する必要があると考えるがどうか。

A 平成29年度に地球温暖化対策実行計画の見直しに着手する予定である。長期にわたる計画となるため、この間の技術の進歩を想定した取り組みを検討していく。

●一般質問は内容を要約して掲載しています。また、議会ウェブサイトでも録画映像がご覧いただけます。

※ パリ協定…温暖化ガス排出削減のための国際条約。

質問者

佐藤 秀明
(市民連合山形市議団)

遠藤 和典
(翔 政 会)

中野 信吾
(翔 政 会)

高橋 公夫
(市民連合山形市議団)

武田 新世
(公明党山形市議団)

阿曾 隆
(日本共産党山形市議団)

伊藤 香織
(翔 政 会)

質問の要旨

人口ビジョンと土地利用、外国人住民、環境問題、福祉・居場所づくり、屋内スケート場、交通環境 ほか

危機管理、統 資源確保、農地の高度利用、仙山交流の充実、子育て環境の充実、観光教育 ほか

30万人都市実現へ向けた取り組み、国際施策、ごみの夜間回収の実施、野良猫対策、子育て支援 ほか

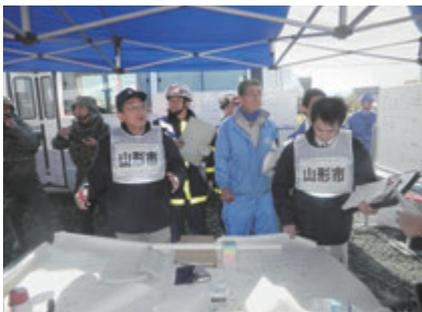
山寺の世界遺産登録に向けて、斎場の移転と建設計画、公共交通網の整備・駅前再開発、有害鳥獣対策 ほか

山形市障がい理由とする差別の解消推進条例制定の動きの中で、新生児聴覚検査、山形市手話言語条例の制定 ほか

中小企業・小規模事業者・起業支援、中核市移行、安全・安心の街づくり、子育て支援、観光振興施策、認知症対策 ほか

熊本地震をうけての防災対策、学校図書館の充実、住生活の安定のために、放課後児童クラブ、双葉地区の小学生への対応

地域資源を生かした地域ブランド化、小中学校のICT化、市民と大学の連携構築、蔵王駅前の駐輪スペース ほか



▲非常事態 想定しながら図上訓練 今後の実施検討求む



▲温暖化対策は早急な課題

農地 高度利用で産業化 農政サイドの企業育成

遠藤 和典 議員

Q 在り方はどうか。
A 生活支援コーディネーターを中心に、地域における自発的な支え合いづくりを進め、必要な支援をすることでサービスB型をさらに増やしていきたい。

Q ふれあい・いきいきサロンをさらに拡大していくことが必要だと考えるがどうか。
A ハード整備などの事業に民間活力を導入し実施するよう努めていく。「民活で元手を作る幾多の手 よりふさわしき道を選ばん」

Q 観光振興のために西蔵王展望広場までの道路を拡張してはどうか。
A NHKテレビ塔前から展望広場までの区間は公園管理者の県に要望するとともに、代替ルートも含めた円滑な交

通の確保に向け協議していく。
Q 市道八森線の平成29年2月完成に合わせ、バス路線を開通すべきではないか。
A 運行事業者からは、おおむね要望どおりの経路に変更するとの回答をいただいている。29年10月のダイヤ改正時からの対応となる見込みである。

Q 武力攻撃や大規模テロを想定した図上訓練や市民対象の訓練をすべきではないか。
A 「計画の 実効性を確保せよ共有すべし危機への対処」

Q PFIの活用には、民間事業者の自由な発案をもっと積極的に取り入れてはどうか。
A 「活力を 民間からもいたどころ 自由な発想公約前進」

Q ミニ公募債やガバメントクラウドファンディングなど民間資金の共同調達で、仙山交流をPRしてはどうか。「交流の 広報兼ねるファンディング 市民の理解連携支え」

Q 平成27年12月の議会で提言した、観光教育推進に向けた検討状況はどうか。「観光を通じて学ぶ地域愛 明日の山形担うは君ら」

A 国民保護法に基づく役割により、これまでと同様に国や県の合同訓練に参加するなど非常事態に備えていく。「守るすべ 国県ともに洗い出しあまねく伝え皆で備えん」

A 実効性が高まるよう、民間事業者が発案しやすい体制の整備や制度の周知を検討していく。「より前へ まちの元気を引き出さん 二十五万の知恵を集めて」

A 提案の取り組みが実現すればPR効果も大きいと思われるため、ふさわしい事業があるか調査研究していく。「仙山の 気運高める調達の 手立て求めてきずな深まる」

A 産業界のニーズや観光を取り巻く状況を考慮しながら、観光基礎や観光実務などの科目の設置を検討していく。「再発見 郷土の魅力と物語性 我ら若人発信・発見」

Q 毎年の財源負担を平準化するため、PFIをもっと活用すべきではないか。「大事な事業に活用するやら」

Q 農用地を農業産業団地やバイオマス産業団地として雇用創出の拠点にしてはどうか。「農用地 高度利用で産業化 農政サイドの企業育成」

Q 病児・病後児保育施設を複数新設し、子育て環境を充

※ 遠藤和典議員が質問の一部を短歌形式で行い、市長も同様の形式で回答した。



危険な道路から子どもたちを守れ

渋江 朋博 議員

Q 小白川街道の歩行者の安全対策をどう考えているのか。

A 安全な歩行空間を確保するための電柱の集約は地元の同意がまだ得られていないが、今後も意見を交換しながら検討していく。国道13号の下を通る箇所には、運転者への注意喚起と視認性を高めるため、照明のLED化や路面反射材の設置などの安全対策を強化していく。



▲小白川街道に安全な歩行空間の確保を

Q 仙台市が人口減少を見込んでいる中で、仙山間の交通基盤を強化することにより、どのように人口増加につながるのか。

A 仙台市が人口減少を見込んでいる中で、仙山間の交通基盤を強化することにより、どのように人口増加につながるのか。

Q 交通網を整備し移動時間を短縮することで本市と仙台市が経済圏として発展し、人口のダム機能をはじめ、東北のけん引役を果たす方向を指しているのか。

A 交通網を整備し移動時間を短縮することで本市と仙台市が経済圏として発展し、人口のダム機能をはじめ、東北のけん引役を果たす方向を指しているのか。

Q 国際的な事業を二元的に所管する部署を創設し、より戦略的かつ効果的な施策を進めてはどうか。

A 諸外国を対象とした施策は各部署が担当する施策と密接に関わるため、各部署間の連携をさらに強め、必要に応じてプロジェクトチームを作りながら取り組んでいく。

Q イクボスを推進するためにもどのような取り組みを行っているのか。

A 平成28年度の初めに全ての管理職がイクボス宣言を行い、業務の効率化に向けた仕事の見直しや、休暇の取得促進などに取り組んでいる。

Q 県の山形いきいき子育て応援企業に対する奨励金に上乗せするなど、県と連携した取り組みを行ってはどうか。

A 同企業への競争入札の際の優遇措置を29年度から設けることに加え、一定の条件を満たした育児休業取得者がいる企業へも優遇措置を導入する予定である。県と連携しながら、奨励金交付制度の周知に努めていく。

Q 消防団のさらなる組織強化に向けて、副団長職の定数を増やしてはどうか。

A 副団長の業務が増えていることから、副団長職の定数を増やしてはどうか。

Q 企業のニーズを把握し、協同組合や商工団体などと流通団地の在り方を協議していく。

A 企業のニーズを把握し、協同組合や商工団体などと流通団地の在り方を協議していく。

Q JR山形駅以外の駅は、バス停までのアクセスが良くない。各駅と路線バスの連絡を強化すべきではないか。

A 各駅の利用実態や今後の鉄道とバスの利用見込みなどを参考に、鉄道とバスとの連

Q 軽度の障がいを持つ子どもが受験やテストを行う際は、障がいに合わせて配慮をすべきだと思いがどうか。

A 高校受験の場合は、配慮すべき事項を確認し、別室による受験や座席位置の配慮などを行っている。定期テストの時間延長や別室受験などは、他の児童生徒との平等性を考慮しながら対応していく。

Q 公共サービスを担う民間事業者の適正な労働条件の確保のため、社会保険労務士を中心とした専門家による労働条件審査を導入してはどうか。

A 今後、さらなる実態把握に努めるとともに、全国の状況などを考慮しながら調査研究していく。

Q 猟友会の負担軽減のためにも、捕獲した有害鳥獣は市が処分すべきではないか。

A ペットや路上死の小動物との兼ね合いや焼却炉の空き状況などを調整し、可能な限り受け入れてもらうよう広域環境事務組合と協議していく。



山寺の世界遺産登録を目指す取り組みを

中野 信吾 議員

Q 山寺を世界遺産に登録するために支援してはどうか。

A 世界遺産登録は、全国的に県や広域での取り組みが多

い状況であり、県にも相談し情報収集しながら、今後の進め方を調査研究していく。

Q 流通センターの特別用途地区建築条例を廃止し、多業種の企業を誘致することで活性化してはどうか。また、新斎場の候補地としてはどうか。

Q 猟友会の負担軽減のためにも、捕獲した有害鳥獣は市が処分すべきではないか。

A ペットや路上死の小動物との兼ね合いや焼却炉の空き状況などを調整し、可能な限り受け入れてもらうよう広域環境事務組合と協議していく。



▲児童数の増加が見込まれるみはらしの丘小の教室確保を



高橋 公夫 議員

新しい児童遊戯施設は 地域の特性に合ったものに



▲山寺の世界遺産登録で観光客の増大を

理由とする差別の解消推進条

Q 新たな児童遊戯施設の建設予定地として、南山形地区の東北文科大学周辺区域を検討しているとのことだが、今後の進め方はどうか。また、地域の特性を考慮した施設にしたいと思うがどうか。
A 今後は具体的な用地の調査を行い、関係者と協議を行った上で決定していきたい。また、南山形地区の地域資源を生かした運営で、市南部にとってプラスになるような施設を目指していきたい。

Q (仮称)山形市障がい者理由とする差別の解消推進条

Q 障がい者雇用の理解を深めるため、50人未満の事業所を対象に、ハローワークと連携した情報提供やセミナーを開催してはどうか。
A 山形労働局と連携しながら、さまざまな機会に施策と制度を周知するとともに、セミナーの開催を協議していく。

Q 全ての放課後児童クラブが条例の基準に適合するよう、

Q 健康医療先進都市を掲げる本市が、県内の自治体に先駆けて新生児聴覚検査費用の公費負担をすべきではないか。
A 今後、産科医療機関への検査実施勧奨と受診状況の把握に力を入れて取り組み、その状況を見て検討したい。

Q 国基準の委託料算定による放課後児童クラブが民間施設を賃借する場合に、賃借料相当額を助成してはどうか。
A さらなるクラブ運営の安定化に向けて検討していく。

Q みはらしの丘小学校の教室不足が予想されるが、どのようにして教室を確保するの
A 平成30年度に6教室の増築を行い、各学年3クラス体制を整備することで、教室不足を解消していく。

Q 健康医療先進都市として、医療ツーリズムの受け入れ態勢をどのように整備していくか。
A 山形・上山・天童三市連携観光地域づくり推進協議会と山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会が連携を図り整備していく。また、DMOが主体となり、旅行商品の企画・造成・販売を併せて行っている。

Q 次世代型重粒子線がん治療装置の一部に県内企業の部品を採用したいとの報道があったが、本市も企業への協力など積極的に支援すべきではないか。また、研究開発工場を誘致し産業発展や雇用創

出につなげてはどうか。
A 医療産業への新規参入や取引拡大の絶好の機会と考えており、今後も関係機関と連携していく。新たな産業団地基本構想で、研究開発工場の誘致も含めて検討していく。

Q 大岡山の登山道整備へ支援するとともに、登山口付近に公衆トイレを設置してはどうか。
A これまでは楯山地区の方々が登山道を整備し、コースマップや案内看板の製作・設置を行い、安全に登山を楽しめるようにしているが、どのような支援が可能か検討していく。公衆トイレの設置は、登山者の状況を把握し、整備や維持管理経費も踏まえて地元の方々と検討していく。

※1 DMO…Destination Management (Marketing) Organization
地域自らが来訪者を集める、新しい観光まちづくり組織(観光地域経営組織)。
※2 大岡山…山形市の北東に位置し、山頂からは市北部と月山、葉山などを眺めることができ、古くから楯山地区のシンボルとして親しまれている。やまがた百名山に選ばれた。



地域産業の活性化を図り 人口30万人を達成せよ！

武田 新世 議員



▲路面下空洞調査によるインフラ点検の実施を

Q 人口30万人達成のために、雇用の受け皿となる地域産業の活性化が不可欠である。岩手県花巻市で提供しているようなレンタル工場棟を新産業団地にも取り入れてはどうか。

A 他市の事例も参考にしながら、基本構想の策定を進めていく。

Q 静岡県富士市では、産業支援センターを設置して課題解決型・伴走型の支援を行っている。本市でも同様の取り組みを行ってはどうか。

A 山形県よろず支援拠点の周知に努めるとともに、市独

自のビジネス支援の仕組みづくりを検討していく。

Q 中核市移行に当たり、市の独自性をどのように発揮していくのか。

A 条例の制定や事務の運用において、市民サービス向上の工夫をしていきたい。

Q 空洞探査車による道路の空洞と橋梁の内部調査を実施してはどうか。

A 試験的に調査を行い、有効性を認識した。さらなる安全性の向上が期待できるため、実施を検討していく。

Q 消防団員の報酬を引き上げるべきだと思いがどうか。

A 活動に応じた適切なものとなるよう見直していく。

Q 産後ケア事業の導入を提案したが、進行状況はどうか。

A 平成29年度の開始に向けて、医療機関を利用したショートステイやデイケアなどの準備を進めている。

Q 東根市で実施するスマホ版母子手帳アプリを、本市でも導入してはどうか。

A 導入市町村の情報を収集しながら、調査研究していく。

Q 5歳児健診の導入は検討しているのか。

A より早期に発見し、支援することが重要と考えており、現行の体制を整えている。

Q 健やか教育手当の所得制限を撤廃すべきではないか。

A また一部でも支給できないか。今後慎重に検討したい。

Q 二代目鍋太郎を市長が公約に掲げる日本一の観光案内所に設置してはどうか。

A 鍋太郎の今後の生かし方を協議会と話し合っていく。

Q 山形駅前周辺を明るく安全なエリアにするために、防犯灯などの整備を推進すべきではないか。

A 本市の玄関口にふさわしい街づくりを推進していく。

Q 「これって認知症？」の検討状況はどうか。

A 29年度からの導入に向けて検討していく。

Q 沼の辺体育館の利便性向上のために、隣接する空き地を駐車場としてはどうか。

A 今後の課題として必要性も含めて検討していく。

受けて実施することとなる。

Q 活断層の近くにある村木沢小学校や西山形小学校の移転新築を早急に判断すべきだと思いがどうか。

A 建物の築年数・耐震性を考慮し、早い時期に移転や改築による耐震化が必要だと考えている。地元の意見を十分に聞き、早期に望ましい方向



熊本地震から真摯に学び 市民の安全・安心を！

阿曾 隆 議員

Q 木造住宅耐震診断を無料とし、条例に定めて計画的に推進するよう建築物耐震改修促進計画を大幅に見直すべき

ではないか。

A 木造住宅耐震診断事業を引き続き実施するとともに、建築物の耐震化の普及啓発に努めていく。

Q 地震の際の電気火災を防ぐ感震ブレイカーの新たな補助制度をつくり、広く市民に啓発してはどうか。

A 市民防災センターに啓発チラシを配置しており、今後、さまざまな機会で設置を推進していく。また、設置費用の助成は先進地の取り組みを参考にしながら調査研究していく。

Q 被災建築物応急危険度判定士の資格を持っている職員は何人いるのか。また、今後の体制をどう考えているのか。

A 職員登録数は23人である。震度5弱以上で建物被害が多数把握された場合に、被災建築物危険度判定実施本部を設置し、県建築士会山形支部や県の支援のほか、被災状況によっては全国的な広域支援を

*1 二代目鍋太郎…日本一の芋煮会で使用されている直径6mの大鍋。一代目鍋太郎は現在唐松観音堂前広場にモニュメントとして設置されている。

*2 被災建築物応急危険度判定士…大地震や余震により被災した建築物を調べ、その後に発生するさらなる余震などによる倒壊の危険性などの応急危険度判定を行うことのできる資格を持つ人。



▲山形の冬を楽しむウインタースポーツの充実を

Q ウインタースポーツの将来ビジョンをどのように考えているのか。また、部署横断的な体制が必要であれば、組織としてベストな体制をつくりながら進めていくべきかどうか。

Q 山形鑄物のブランド力を高めていくため、複数存在する団体の統合を目指してはどうか。
A 2つの団体間で、平成29年度の統合に向けて調整中であると聞いている。今後も鑄物団体と協議し統合に向けての支援をしていく。

Q 地域・大学・市民活動をつなげるための仕組みづくりや窓口の一本化など、市民活動支援センターの役割を見直してはどうか。
A 大学との連携に係る相談などがよりスムーズに行えるよう、地（知）の拠点整備事

Q タブレット端末の配置や無線LANの整備など、小中学校のICT環境をどのように整備していくのか。
A 小学校1校、中学校1校をモデル校に指定して実践を積み重ねながら、ICT活用の研究を進めていく。

Q 女性の救急救命士は3人いるがまだまだ少ない状況である。女性傷病者の場合に、いつでも女性の救急救命士が同乗できるような体制づくり

Q 蔵王駅前の駐輪スペースが自転車であふれているため、手立てが必要だと思いませんか。
A 平成28年12月までに鉄道用地利用に関する協議をJRと行い、自転車の整理整頓や放置自転車の定期的な撤去などを行っていく。その後の状況を踏まえ、駐輪スペースのさらなる拡張が必要な場合は、改めてJRと協議をして駐輪場の整備に取り組んでいく。

Q 健康医療先進都市の実現に向け、女性の健康に対する施策を積極的に進めるべきだと思いませんか。
A 生涯の各ライフステージに応じた心身の健康維持と健康づくりへの支援を進めてきた。今後も、相談体制の整備や支援による女性の健康づくりを推進するとともに、新たに産後ケア事業を始めるなど、幅広い年齢層を対象とした女性の健康の保持に取り組んでいく。

Q 29年度は、数年ぶりに双葉地区から小学校に入学する児童がいる。通学バスなどでサポートをしてはどうか。
A 双葉地区通学用車両運行事業実施要項により、通学用車両の準備を進めている。



伊藤 香織 議員

将来ビジョンによる 地域ブランド化とスポーツ振興を



▲膨大な数の図書を管理する学校司書

性を見出し出していきたい。
Q 学校図書館法の改正で、学校司書の法的位置付けが明確になった。学校司書職員の全校配置を計画的に進めるべきだと考えるがどうか。
A 学校図書館の充実に向けて、どのような体制で運営するのが望ましいか、他の自治体の取り組みなどを調査研究

していく。
Q 民間の物件を借りている放課後児童クラブは、家賃が運営費の大きな負担となっている。施設賃借料は市が全額補助すべきではないか。
A 公的施設を利用してのクラブとの負担に大きな差が生じているため、今後、さらなるクラブ運営の安定化に向

け、施設賃借料に係る施策を検討していく。
Q 放課後児童支援員のワーキングプアの状態を改善するために、市の委託料を引き上げるべきだと思いませんか。
A 平成26・27年度に国の制度を活用し支援員の処遇改善に努めてきた。補助金の増額は委託料の算定基準となる運

業の趣旨や対応ノウハウを市民活動支援センターと共有し、機能を強化していく。
Q 必要だと思いませんか。
A 女性消防吏員の大規模増員や施設整備などに課題があり、現在のところ困難であるが、女性消防吏員の活躍推進のために、女性消防吏員の採用や救急救命士養成も含め、今後検討していく。

議会報告会を開催しました

第4回目となる議会報告会を平成28年11月に開催しました。今回は市内8カ所の公民館・コミュニティセンターで開催し、171人の皆さまにご参加いただきました。報告会では、9月定例会の議会活動の報告や参加された皆さまとの意見交換を行いました。

今回の報告会でお寄せいただいたご意見の一部を紹介します。

- ・観光客拡大へ向けた、より一層の取り組みを期待したい。
- ・文化都市、芸術都市を目指し美術館の充実を求めたい。
- ・イノシシや熊などの有害鳥獣対策を強化してほしい。
- ・冬期間の利用も含めたグラウンドゴルフ場の環境を整備してほしい。
- ・観光地の無電柱化を進めてほしい。
- ・ごみ集積所を新設する際の助成が、年度途中で無くならないようにしてほしい。
- ・地域包括支援センターが地区に1カ所しかない。介護ユーザーがプランニングを選べるよう2カ所にできないか。

お寄せいただいた貴重なご意見は、全議員で共有するとともに、議会活動を通して今後の山形市の発展につなげていきたいと考えております。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

この報告会は毎年11月に開催する予定です。議会ホームページ、やまがた市議会報「みちしるべ」でもご案内いたしますので、市民の皆さまのさらなるご参加をお待ちしています。



市政トピックス 道の駅と児童遊戯施設の整備箇所を検討

12月定例会において、道の駅と児童遊戯施設の設置を検討する箇所が示されました。今後は設置に向け、具体的な協議が進められることとなります。

<道の駅>

- ・山形中央IC付近
- ・山形上山IC付近

<児童遊戯施設>

- ・東北文教大学周辺区域
(南山形地区)

新しい年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の干支は酉。酉のつく年は商売繁盛につながると言われています。山形市の景気も上向く1年にしたいですね。さて、昨年の11月には市内8カ所で議会報告会を開催し、多くの市民の皆さまより足を運んでいただきました。この度で4年目の開催となりますが、より開かれた議会を目指し活動してまいりたいと思えます。

いよいよ本格的な冬が到来し、厳しい寒さが続いておりますが、蔵王はスキーシーズン真っ盛り。樹氷も立派に成長しています。ぜひ、皆さまも冬の山形を楽しんでほしいと思います。

議会報委員 洪江 朋博

編集後記

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。お気軽にご活用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索

【お詫びと訂正】 やまがた市議会報みちしるべ第198号（平成28年11月1日発行）の8ページ「一般会計補正予算」の記載内容について誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。詳しくは議会ウェブサイトをご覧ください。